

2021 年
7 月

八木山地区社協

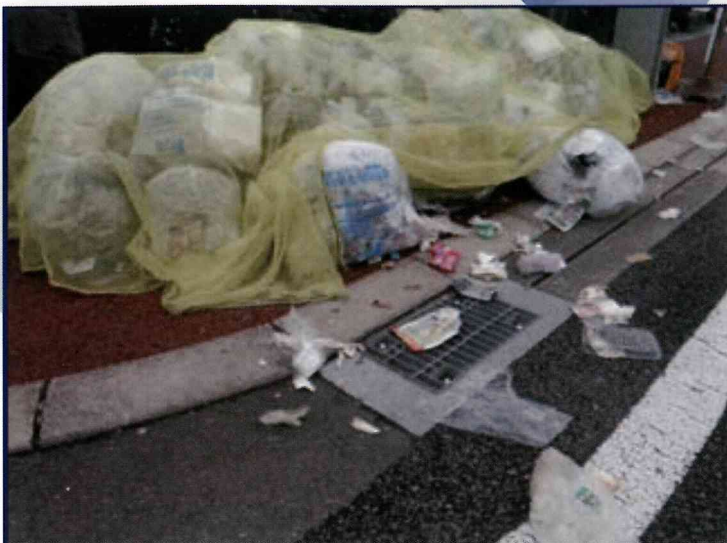
まちの福祉便り ささえあい



八木山地区社会福祉協議会 会長 井藤 将也

事務所：つつじが丘 4-6 ☎ 377-3400

2021.7.1



散らばったゴミを

ゴミ収集車の作業員が、ごみの袋を全部車に積んだ後、拾い集めては車に乗せておられました。ここまでしていただけるのかと驚き、感激しました。

作業員さんに、余分な仕事をしてもらわなくてもよいようにしなければと思いました。また、このような人の丁寧な仕事によって、私たちの生活は、守られている。「私は誰の世話にもなってはいない」とは、言えない。あちこちでこうして人の世話になっていると思った出来事でした。

困っている人に手を差し伸べる人々

①「社会的には困ったこと」を日常的にするKさんがいます。

「実はこの人が困っているに違いない。」この考え方から、周りの近隣ケアはKさんのやった困ったことの後始末をしています。30分くらいかかります。関わる人は3人、時に男性もやっているそうです。後始末をしている人は言います。

「はじめは嫌だった。でも今ではいやでも何でもない」

「困った行為に出会ったら、注意はする」

「季節外れの服装の時がある。その時にはそっと注意する。またある時は、後ろに車が来ていても道の真ん中を歩いているので、後ろに車が来ているから、端によってねと言ってやったこともある」

これらのケアは1年以上続いています。

なお、この件について、家族・民生委員・相手方にも伝えていきます。

②遠くに住む子が、親、Mさんにスマホを買い与えました。

しかし全く使えません。3人でMさんに電話の受け方を教えました。合計4日、練習しました。

3人のうちの一人は、隣人が同じ簡単スマホを使っているのを知って、聞きに行きました。この機種はかかってきたら耳に当てるだけで会話ができるようになる。バイバイ等別れの言葉の言うと電話は自動で切れる等。しかしいろいろ言っては混乱するので、今までの方法を貫きました。そしてついに自宅で受けられるようになりました。また自ら、かけてくれました。電話を受けた者は他の2人に喜びを語りました。3人がともに幸せを感じました。「心の中まで温かく感じた日でした。ゆっくりと一歩でも進んでもらえたらと思い続けた日々でした。私も行く道ですから」とは関わった加藤さんの言葉です。

①②とも、いつか誰もがなるかもしれない姿、共にここで生きる行動。

定員
50人

25 日 (日) 13:30 ~ 15:30 場所：つつじが丘ふれあいセンター
講演会 特別支援学校を知ろう

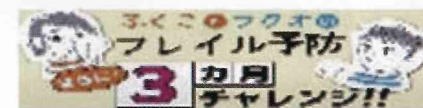
各務原市立特別支援高等学校で、優れた教育をされた後藤秀仁先生の話



八木山地区社協のホームページ： 閲覧件数 10632 件 2021.6.14 現在

◆2018 年 3 月～松が丘パソコンクラブのメンバーのご尽力で開設、以後更新していただいています◆

八木山地区社協のホームページ(←QRコードから見られます)から、市高齢福祉課が作ったフレイル予防の動画が見られます(ホームページ内バナー(右画像)をクリック)。見ながら体操や脳トレをされませんか



7月 ささえあいサロンスケジュール

◆えんがわ図書館実施中

◆アルミ材収集9日です。ご協力よろしく。



☎ 058-377-3400 平日/午前 10 時～午後 15 時まで
ささえあい活動の申し込みもどうぞ

	月	火	水	木	金
10 時 ～ 13 時				1 パソコン スマホ相談	2 囲碁教室
	5	6	7	8	9
10 時 ～ 13 時	フレイルチェック	囲碁・将棋	公園で 絵を描こう		小谷さんの 囲碁教室
	ポートレート 撮影会	つつじ丁目 E班の集い	認知症茶話会	四葉の会のつどい	
10 時 ～ 13 時	12 ガーゼハンカチ 作り	13 囲碁・将棋	14 包丁・鎌研ぎ	15 パソコン相談	16 囲碁教室
				まちの保健室	
10 時 ～ 13 時	19 ささえあい活動 利用者の集い	20 囲碁・将棋	21 公園で 絵を描こう	22 海の日	23 スポーツの日
		フレイルチェック	※介護を語ろう・ 相談		
10 時 ～ 13 時	26	27 囲碁・将棋	28	29 河合さんの脳トレ	30 囲碁教室
				絵手紙100円	大谷さんの 障がい相談

21日
(水)

介護を語ろう 時間/13:00～

ケアマネであり、自らも家族を介護した秋田さんを囲んで語り合
いましょう。介護相談も受けます。

31日
(日)

井口先生の講演・邦楽の調べ

場所/つつじが丘ふれあいセンター 時間/13:30～15:30



毎月第1・第3水曜日10時から 公園で絵を描こう

この日は五月晴れ。車に乗り合わせて各務原公園に集まった人々
が、思い思いの木陰に陣取って描いておられました。

「これに参加して絵がうまくなろうと思うと、長続きしません」

「うまくなれるのは若いうちだと、体験から思います」

「そうそう、うまくなるためにはなく、絵を描くことが生活の一部と
なって、楽しみになるのですよね」

世話役の酒井さんと、長年描いている加藤さんの会話でした。
絵を楽しもうという方 第1・3の水曜10時ささえあいの家に、画材・お
茶等もっておいでください。いっしょに行けます。



7月

八木山地区社協 まちの福祉便り ささえあい

2021.7.1

地域のみんが繋がるための

ささえあい活動通信

社協会報が
愛われています

八木山地区社会福祉協議会 ささえあい活動部会 代表 伊藤 隆 0377-3400

★困りごとがきたら連絡をください

→ささえあいの家：電話 058-377-3400

→伊藤：090-2612-2826

★通院・買い物などの移送致します／

買い物代行をします

→西尾：090-9902-1907

活動	活動数 (回)	延べ活 動者数 (人日)	利用者 数(人)
5/1～5/31	1	2	1
ドアクロザー修理	1	1	1
ワクチン接種付き添い	4	12	1
スアホ操作指導	3	14	3
草取り	3	11	3
剪定	1	9	1
外壁塗装	17	17	3
ゴミ出し	4	4	1
家事支援	1	1	1
灯器修理	1	1	1
雨漏り	1	1	1
網戸貼り	1	2	1
階段磨き	1	2	1
鍵修理	1	2	1
公園トイレ清掃	9	9	1
洗濯機設置	1	1	1
雨どい修理	1	1	1
配食	2	10	24
移送	17	17	5



乾かそうと縁側に出して置いた寿司桶。うつかりしていたら、日が当たって、桶がばらばらになってしまいました。
「これを直すのは楽しい」と言って、直しにかかってくれた伊藤さんが、桶の隙間には添え木を入れ、タカがゆるいので、竹で作った板を3か所に入れて補強していただけでした。
嫁入りの道具だった寿司桶、直しもらい、今後一生使えそう。ありがたいことです。



外壁塗装：塗りやすいよう依頼者は植木を引っ張って活動参加されました。

5月の末、しきりに鶯の鳴き声の聞こえる山際で、斜面にはり付いて草取り。
足の筋肉が鍛えられました。ここを一面の芝桜にする計画だと。近所の人が、「ささえあい活動はお年寄りしか、対象にしないの?と聞かれたそうです。
年齢は問いません。若い方が経済活動を懸命にしておられる。その応援のためにも、草引きでも、網戸張りでも何でも、申し



込まれたことをやります。
どうぞ声をかけてください。

●名城大学法学部の178名に「ボランティア入門」の講義を担当しました。その一部です。
若い人たちが、「ささえあい活動」を聞いてどう思ったのか、感想が送られました。

(1)僕のおばあちゃんも田舎で一人暮らしをしています。やはり人と話すことが1番楽しいと言っていたので、物を作ったりとか直したりするのがボランティアだと思っていました。が、コミュニケーションを取るだけでもとても大事なボランティアなんだなと実感しました。
(2)認知症の人への対応は正直まだ僕はあまり自信がありません。嫌なことを言われたりしたら、態度に出してしまう気がします。しかし、ささえあい活動の皆さんはそういうことが無さそうなので、やはり、目上の方の経験は違うなと感じました。ボランティアに限らず、余裕のある人間は素晴らしいと感じました。
(3)僕は将棋が得意なので、高齢者の方と将棋がしてみたい。

大学生の感想を読んだ人が言いました。
ささえあい活動は、生きるため、
日常生活をするためのボランティアだ。

人は、生きるのに3つ必要なことがある。

①おしゃべりできる

②頼む力がある

③人を信頼する力がある

(4)ボランティアというと、「何かしたい」と利害が一致した面識のない人たちが活動するものというイメージがありました。なので飲み会仲間からこの活動が始まったことには驚きました。
人との繋がりを特に意識した活動内容で、弁当配給ですら弁当が脇役になってしまっている面白かったです。ただそれだけ繋がりを意識していることが非常に伝わってきました。また活動員さんの意欲に感激しました。端的に言うとう、「すごいなあ」と思えばいいです。「どんな依頼でもまず引き受ける」、「質のいい仕事をしたい」、「交流が楽しい」等、たくさんありました。この意欲に、住民の方々は頼りたいと感じるのではないかと思います。仮に私がこの活動を受ける側だとしても、そのような気持ちでやってくださるなら、申し訳ない気持ちもちろさく、逆に来てもらいたい、もっと話したいと感じます。活動員の方々の姿勢に対しては、恐縮ですが、本当に素晴らしいことだと思っています。
ささえあいの家での活動は、カルチャな内容で若者でも楽しんで参加できると感じま

した。住民が「これ教えない」「これやりた」というものを実行できる環境は、他ではあまりないと思います。なので非常に良い機会を提供してくださるのだなと思いました。活動内容によっては、ジェネレーションギャップを楽しむこともできるのかなと思っています。
この活動には、超高齢社会を超えた日本に必要なものがたくさん詰まっていると思います。「ささえあい活動」が、介護の心配がいらないと言わせてしまう環境を作っていることに心強さを感じました。若年層が一人で介護しなければならぬ状況になっと思っています。
また活動員さん自身も、生きがいになっていたり、自分の必要性を見出していたりし、皆が元気でいられると感じました。こんな良い環境が全国に広がっていれば、多少未来の課題に対しても向き合っていけるのではないのでしょうか。「近くにあればなあ」と思うボランティア「ささえあい」団体です。